

受講生募集

令和7年度原木しいたけ新規生産講座



令和7年度原木しいたけ新規生産講座(10回開催)を開講するに当たり、受講生を募集します。本講座は、鳥取県において新規に原木しいたけの栽培に従事することを検討している方を対象にしており、栽培技術や経営などについて実践的に学ぶことができます。

今年で第21期目になる本講座は、過去20年間で345名が修了されています。

鳥取県の原木乾しいたけの生産量は、全盛期(昭和59年)の190トンから約9.3トン(令和5年)まで減少し、原木しいたけの生産者は1,220名をピークに、現在では約200名になっています。

クヌギやコナラなどの原木を循環利用する原木しいたけ栽培は、広葉樹林の保全を通して里山の多面的機能の発揮に役立っており、次世代に継承すべき里山産業の一つです。また、生産された原木しいたけは、安心・安全で健康に良い食品として消費者に認知されています。

原木しいたけは、その栽培において農薬や化学肥料、耕運機や田植え機などの高価な資材や機械を使用しないので初期投資が比較的少ない、収穫や植菌の時期が冬から春なので、他の農作物の繁忙期と重ならない、など経営面・作業面でも複合経営の作物の一つとしてとり入れやすい特徴があります。

受講を希望する方は、以下の案内をよくご確認くださいお申込みください。

【募集対象者】

鳥取県在住の方で、本格的な原木しいたけの生産及び経営を始めたい方

※原木しいたけ生産者として就農を目指す方に限ります。

【開催場所】

菌茸研究所・県東部

【募集人数】

20名程度(先着順)

【受講料】

9,200円/人 (原木・種菌代・傷害保険料等)



【応募方法及び受付期間】

希望者は別紙の申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。

(1) 応募宛先

〒689-1125 鳥取市古郡家 211 番地

(一財)日本きのこセンター 菌茸研究所

FAX 0857-53-1986

(2) 受付期間

令和7年8月4日(月)から8月25日(月)必着分まで。

※定員に達した場合は、受付期間内であっても募集を締め切ります。

※8月末までに受講の可否、受講会場のご案内文書を送付予定です。



主 催

鳥取県(この講座は一般財団法人日本きのこセンターが鳥取県から事業を受託しています。)

受講者の決定

受講者は、受講申込みの受付順に決定します。

受付は、郵送の場合は菌茸研究所到着日、FAX の場合は受信日とします。

修了の認定

10 回中 8 回以上出席し、前向きに研修に参加し、内容をよく習得された受講生に限り、修了を認定します。

(鳥取県は当講座修了生を対象として、乾燥機・スライサーの購入助成を行っています。)



講座に関する問い合わせ

一般財団法人日本きのこセンター

菌茸研究所 担当:中西

〒689-1125 鳥取市古郡家 211 番地

TEL:0857-51-8111 FAX:0857-53-1986

日 程 (講座は、原則として終日行います。)

回数	月 日	研 修 内 容	開催場所
1 回	9 月 6 日(土) 午前	開講式 「県内の現状と振興策について」「しいたけ栽培の基本」	菌茸研究所
2 回	9 月 6 日(土) 午後	初回アンケートを受けての質疑応答 現地視察研修、栽培管理	菌茸研究所 現地
3 回	10 月 4 日(土) 午前	チェーンソーの安全教育座学	菌茸研究所
4 回	10 月 4 日(土) 午後	チェーンソー取扱実習	菌茸研究所
5 回	11 月 8 日(土) 午前	伐採・玉切実習	現地
6 回	11 月 8 日(土) 午後	伐採・玉切実習	現地
7 回	1 月 24 日(土) 午前	植菌実習	菌茸研究所
8 回	1 月 24 日(土) 午後	(収穫・)乾燥・選別実習 共選出荷・出荷時荷姿について	菌茸研究所 現地
9 回	3 月 1 日(日) 午前	冬～春の栽培管理 収穫・視察研修	現地
10 回	3 月 1 日(日) 午後	「私のしいたけ栽培」「しいたけの栽培経営と流通について」 「鳥取県のしいたけ振興策について」 閉講式	菌茸研究所

※開催日・研修内容・開催場所は、諸事情により変更になる場合があります。